

「あの頃の未来とこれからの未来－語り合おう、埼玉で！」

開催要項

1. 趣旨

障害のある人の「働く・暮らす」にかかわる仕事はとても魅力的です。私たちは誇りをもって障害のある方の支援に日々取り組んでいます。

しかしながら、感染症や法制度の変化への対応、少子高齢化による担い手不足、他の産業に比べて低い賃金水準、リモートワーク等の働き方改革に順応しづらい業務特性等、「大変な仕事」であると見られがちです。

そんな状況においても、私たちは事業所とそこに通う人だけを大切に思うのではなく、障害のある人がいきいきと働き、暮らすことのできる社会こそ、全ての人が幸せな社会であると信じてきました。あの頃思い描いた「未来」そのものであり、そのためにセルフで学び合い、分かち合い、連携してきたのではないのでしょうか。

前述のような厳しい状況の中で、目まぐるしく変化する法制度に適切に対応しながら、なお、これからの進むべき針路を確実に見通していく必要があります。例えばセルフが目指すべきインクルーシブな働き方をどう実現させるのか、「自助」「共助」が強調される中で、「公助」との協働をどう確保していくのか、改めて皆の幸せのために行動していく必要があります。

本研究大会では、私たちの仕事を取り巻く環境を踏まえながら、これからの未来について、大切に、そして丁寧に語り合っていければと思います。

「参加して良かった」、「お土産話を地元を持ち帰ることができる」、そんな大会をめざします。

- 2 主催 関東社会就労センター協議会
- 3 共催 一般社団法人埼玉県セルフセンター協議会
- 4 後援 厚生労働省（予定）、埼玉県、さいたま市、川越市、埼玉県社会福祉協議会、川越市社会福祉協議会、全国社会就労センター協議会、日本セルフセンター
- 5 日程 令和6年10月21日（月）研究大会 10時～17時
令和6年10月22日（火）事業所見学（希望者のみ）
川越コース 10時～15時
川口コース 10時～12時
- 6 会場 ウェスタ川越 多目的ホール
住所 埼玉県川越市新宿町 1-17-17
アクセス JR川越線、東武東上線「川越駅」西口より徒歩5分
西武新宿線「本川越駅」より徒歩15分

7 定員 21日(月)150名 22日(火)各コース25名※

※見学コースは定員となりましたので締め切りいたします

8 研究大会参加費 会員 6,000円 一般 7,000円

※会員とは、関東社会就労センター協議会会員を指します

9 情報交換会参加費 6,000円(希望者のみ)

10 研究大会プログラム

1日目(21日)

9:30~10:00	受付	
10:00~10:30	開会式	主催者挨拶 関東社会就労センター協議会 会長 鈴木 暢 大会趣旨説明 埼玉県セルフセンター協議会 会長 竹村 絵里 来賓挨拶 厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課 就労支援係長 小松 伸章 様 全国社会就労センター協議会 会長 叶 義文 様
10:30~11:00	基調報告	「全国社会就労センター協議会の取り組み」 全国社会就労センター協議会 会長 叶 義文 様
11:00~12:00	行政説明	「障害保健福祉施策の動向」 厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課 就労支援係長 小松 伸章 様
12:00~13:00	休憩	
13:00~15:00 (2時間)	パネルディスカッション	「インクルーシブな働き方」を考える コーディネーター 埼玉県立大学 名誉教授 朝日 雅也 様 パネリスト 公益社団法人やどかりの里 理事長 増田 一世 様 全国社会就労センター協議会 会長 叶 義文 様 関東社会就労センター協議会 会長 鈴木 暢
15:00~15:15	休憩	
15:15~16:45 (1.5時間)	実践報告	就労支援における「公助」を改めて問う コーディネーター 埼玉県立大学 名誉教授 朝日 雅也 様 実践報告 さいたま市 × サデコ MONO がたり さいたま市障害者総合支援センター

		埼玉県 × 埼玉県障害者芸術文化活動支援センターアートセンター集 埼玉県福祉部障害者福祉推進課 埼玉県 × 優先調達（県有庁舎建物管理業務委託） 埼玉県福祉部障害者支援課
16:45～17:00	閉会式	令和7年度関東社会就労センター協議会研究大会開催県 長野県セルフセンター協議会 理事長 綿貫 好子 閉会挨拶 埼玉県セルフセンター協議会 副会長 宮本 英行

2日目（22日）見学日程 希望者のみ

川越コース		川口コース	
10:00	ウエスタ川越前 集合	10:00	東浦和駅 集合
10:00～10:30	移動	10:00～10:30	移動
10:30～11:45	施設見学 第4川越いもの子作業所	10:30～12:00	施設見学 工房集、川口太陽の家
11:45～12:30	移動	12:00～	移動
12:30～13:15	昼食・移動	12:15	東浦和駅 解散
13:15～14:15	施設見学 特別養護老人ホームななふく苑		
14:15～15:00	移動		
15:00	ウエスタ川越前 解散		

11 申し込み方法

本大会は、WEBによる申し込みのみとさせていただきます

参加を希望する場合は、10月4日（金）15時までに、下記のURLよりお申し込みください
<https://forms.gle/iMq3BaFG6Yp1L6yz7>

- ・専用サイトでお申し込みが完了された方には、登録いただいたメールアドレスに申し込み完了のメールが配信されます。
※申し込み完了後 24 時間以内に申し込み完了メールが届かない場合は、埼玉県セルフセンター協議会事務局までご連絡ください。
- ・参加申し込み受付後、1週間以内に登録されたメールアドレスに参加費振込のご案内を送信いたします。振込案内より1週間以内に入金をお願いします。
- ・入金確認後、「参加票」を送付いたします。各自でプリントアウトして研究大会当日ご持参いただき「参加票」を受付に提示してください。
- ・2日目の見学については、申し込み定員に達しましたので締め切らせていただきます。
- ・問い合わせについては、埼玉県セルフセンター協議会にご連絡ください
埼玉県セルフセンター協議会（担当 森下）
TEL：048-729-8426 FAX：048-729-8427 E-mail：jsc2010@nifty.com

12 申し込み締め切り 令和6年10月4日(金) 15時

13 個人情報の取り扱い

- ・専用サイトにご登録いただいた個人情報につきましては、参加申し込み受付など、研修会の運営に必要な範囲内で使用いたします
- ・参加者の把握のため、ご登録いただいた情報をもとに参加者名簿（都道府県名、参加者氏名、事業所名、役職名等）を作成し、参加案内・取りまとめ等のために都道府県セルブ協事務局にも提供いたします

14 実践報告の紹介

サデコ MONO がたり	令和3年6月からさいたま市が市内障害者施設の商品について販売支援を行っているオンラインストア「サデコ MONO がたり」。さいたま市×(公社)埼玉デザイン協議会×障害者施設が協働して障害のある人の工賃向上を目指しています。 『サデコ MONO がたり』 http://sadoco-monogatari.com
埼玉県障害者芸術文化活動支援センター 「アートセンター集」	埼玉県では障害者の自立や社会参加の促進、多様性を認め合う社会の実現などを図る手段として、2009年から障害者アートの普及を推進しています。2016年度からは埼玉県障害者芸術文化活動普及支援事業の助成を受け、「アートセンター集」を開設。また「埼玉県障害者アートネットワーク TAMAP±〇」を立ち上げ、官民協働による埼玉県独自のスタイルで、みんなで支援の力を育み、さらに多様で豊かな表現やその価値を社会に広げるために活動の幅を広げています。 『アートセンター集』 https://artcenter-syu.com
障害者優先調達推進法 (県有庁舎建物管理業務委託)	埼玉県では平成25年から毎年「優先調達推進方針」を策定し、当方針に基づき優先調達を行っています。庁舎管理の委託業務は現在12か所(児童相談所2か所、保健所3か所、特別支援学校7か所)を行っており、委託の経緯・目的としては、庁内各課への旗振り役として福祉・医療・教育(特に福祉)等の関係課には特に強く求められること、1件あたりの金額が大きく契約期間も長く、事務の労力に比するとより大きな効果が得られることなどが挙げられます。

15 見学施設の紹介

○川越コース（定員 25 名）

<p>社会福祉法人皆の郷 第4川越いもの子作業所</p>	<p>川越いもの子作業所は、1987年から障害のある人の「どんなに障害が重くても働きたい、地域の中で暮らしたい」という願いに寄り添い活動をしてきました。第4は2021年7月に開所、生活介護と就労継続B型の事業所です。干し芋製造に必要な本格的な設備が完備された工場があり、川越産のお芋や各地で収穫された国産芋を使用し、「黄金色で甘く柔らかい干し芋」を一年を通して製造しています。干し芋加工は手作業が多く、工程各所に利用者が入り仕事しています。見学では工場内の皮むき等の加工現場や設備も含めご覧いただき、生芋がどのように加工されていくのか、干し芋づくりに向かう各々の技術や集団での連携、また施設が地域のお芋産業と結びつき取り組んでいる様子等もお伝えできればと思います。</p>
<p>社会福祉法人埼玉聴覚障害者福祉会 特別養護老人ホームななふく苑</p>	<p>漫画「どんぐりの家」の舞台になった障害者支援施設「ふれあいの里・どんぐり」の法人が運営している特別養護老人ホームです。この施設の特徴は入居者の9割以上が高齢障害者（聴覚障害）であることです。高齢障害者が安心・安全に暮らせる為にどのような支援、配慮を実践しているのか、ぜひご覧ください。</p>

○川口コース（定員 25 名）

<p>社会福祉法人みぬま福祉会 工房集、川口太陽の家</p>	<p>工房集は社会福祉法人みぬま福祉会が持つ組織の一つ、生活介護事業所です。どんなに重い障害があっても「働くことは権利」と位置付け、一人ひとりにあった労働を模索し続けた結果、重い障害のある人の表現活動を仕事と位置づける事業を展開。福祉施設の閉鎖的で管理的なイメージも払拭すべく、地域に開かれた魅力ある福祉施設を目指し、ここを利用する人たちだけの建物ではなく、いろんな人たちが集まる施設を目指して、工房集と名付けました。普段からアトリエを公開したり、展覧会やグッズ展、ワークショップなどを開催したりと、表現活動を社会につなげる様々な取り組みをしています。</p> <p>工房集アトリエと川口太陽の家アトリエの2か所の創作の現場をご覧いただき、メンバーの思い、支援のあり方、表現活動を社会に発信する意義などを感じていただけたらと思います。</p>
------------------------------------	---

川越まつりのご案内

研究大会の前日（10月19日（土）20日（日））、会場であるウエスタ川越から徒歩圏内の会場では、川越まつりが開催されます。

川越まつりは、慶安元年（1648）に、当時の川越藩主、松平伊豆守信綱が氷川神社に神輿・獅子頭・太鼓等を寄進し、祭礼を奨励したことが始まりとされています。

研究大会の前に、小江戸川越の歴史を感じる休日を過ごしてみたいはいかがでしょうか？

[川越まつり公式サイト \(kawagoematsuri.jp\)](http://kawagoematsuri.jp)

製品販売のご案内

研究大会の当日、会場内において、埼玉県内の障害福祉サービス事業所の製品に加えて、令和6年能登半島地震の被災地を応援するために石川県の事業所の製品も販売します！是非ご覧ください。